

# ダイワ新グローバル・ ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

## 運用報告書 (全体版) 第10期

(決算日 2020年8月18日)

(作成対象期間 2020年2月19日~2020年8月18日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	8年間 (2015年8月19日~2023年8月18日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5668>

<5669>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		騰落率		公社債組入比率	投受組 資益入	信託証 比	託券率	純総 資産 産額
		込	金	期	中					
6 期末 (2018年8月20日)	円 9,839	円 165	円 165	% △4.1	% △4.1	% -	% -	% 99.1	% 99.1	百万円 5,831
7 期末 (2019年2月18日)	9,618	175	175	△0.5	△0.5	-	-	99.4	99.4	4,850
8 期末 (2019年8月19日)	9,894	205	205	5.0	5.0	-	-	99.3	99.3	4,448
9 期末 (2020年2月18日)	10,325	210	210	6.5	6.5	-	-	99.0	99.0	4,244
10 期末 (2020年8月18日)	9,772	150	150	△3.9	△3.9	-	-	99.0	99.0	3,794

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

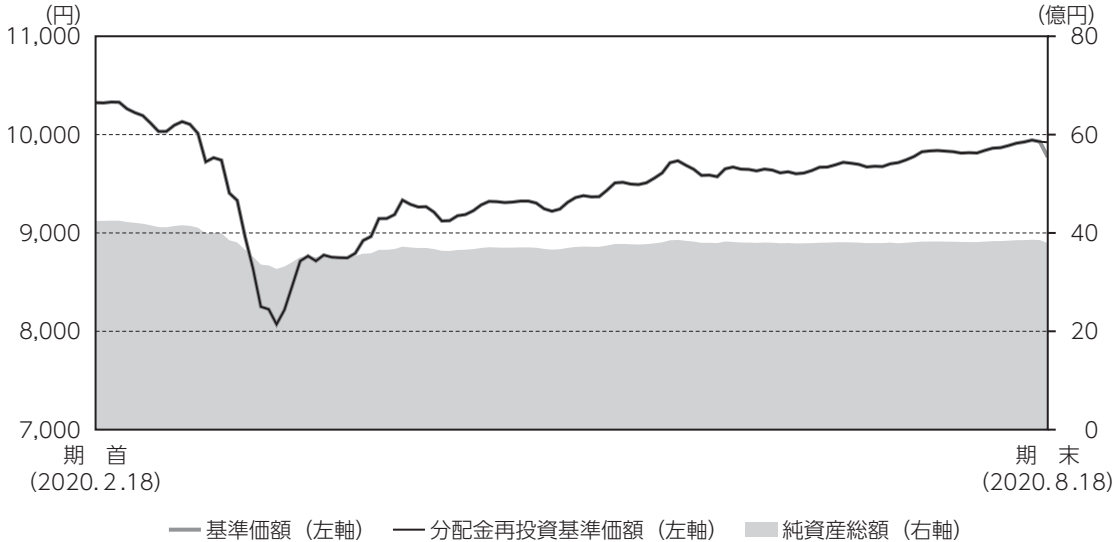
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,325円

期末：9,772円（分配金150円）

騰落率：△3.9%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、主にC o C o債（※）の価格が下落したことから、基準価額は下落しました。また、為替ヘッジにかかるコストも基準価額の下落要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率				
(期首) 2020年2月18日	10,325	% -	% -			% 99.0
2月末	10,116	△ 2.0	-			98.8
3月末	8,715	△15.6	-			99.1
4月末	9,285	△10.1	-			99.0
5月末	9,515	△ 7.8	-			99.1
6月末	9,602	△ 7.0	-			98.8
7月末	9,812	△ 5.0	-			98.9
(期末) 2020年8月18日	9,922	△ 3.9	-			99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020.2.19~2020.8.18)

## ■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は小幅に上昇しました。

金融ハイブリッド証券市況は、信用スプレッド（国債との利回り格差）は拡大したものの、金利の低下（債券価格は上昇）および利金収入から上昇しました。

海外債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大により景気悪化が懸念されたことや、各国の中央銀行が緊急利下げや量的緩和などの金融緩和策を実施したことから、金利は低下しました。

信用スプレッドは、当作成期首から2020年3月下旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大により欧米の株式市場が急落したことを受け、急速に拡大しました。当作成期末にかけては、経済活動の再開や新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを背景とする欧米の株式市場の回復に伴い、信用スプレッドは縮小基調で推移しました。

資産別では、劣後債などが上昇した一方、株式市場との連動性が高いC o C o債は下落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）：A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

## ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020.2.19～2020.8.18)

### ■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持しました。

### ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

G-SIFIs（※）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行いました。資産別では、C o C o債や米国優先証券を中心に投資を行いました。国・地域別では、米国の金融機関の比率を高めとしました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

※G-SIFIs：金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年2月19日 ～2020年8月18日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>150</b>
対基準価額比率	（％）	1.51
当期の収益	（円）	150
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	441

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	153.59円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		20.46
(d) 分配準備積立金		417.90
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		591.96
(f) 分配金		150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		441.96

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態で、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.2.19~2020.8.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	61円	0.643%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,491円です。
(投 信 会 社)	(21)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	61	0.647	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

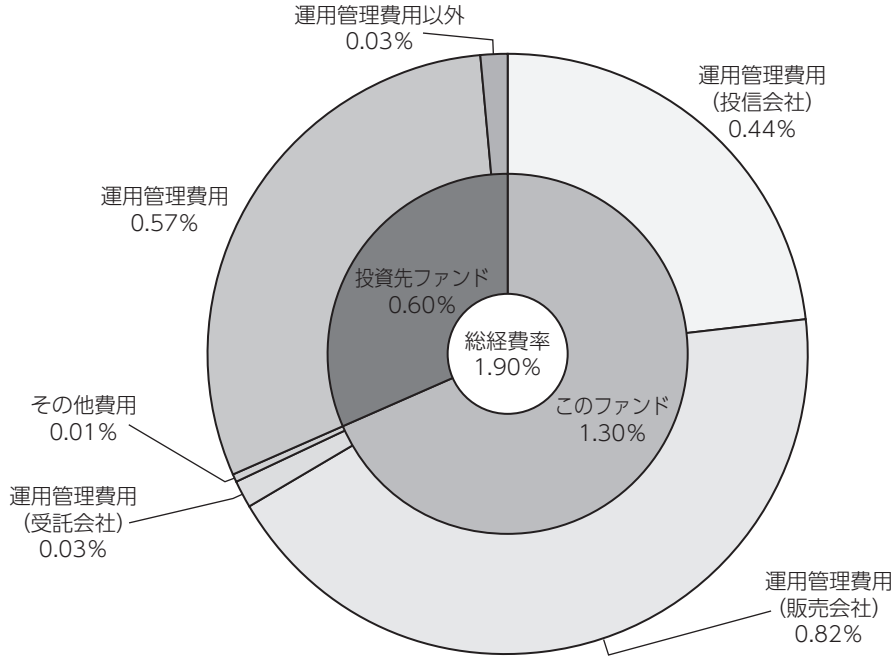
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



総経費率 (①+②+③)	1.90%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

# ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

## ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2020年2月19日から2020年8月18日まで）

国	内	買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	81,599.348	80,000	297,878.25	282,000

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	3,793,678.991	3,756,500	99.0

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	0	0	0	0

（注）単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2020年8月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,756,500	96.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	121,158	3.1
投資信託財産総額	3,877,660	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,877,660,698円
コール・ローン等	121,158,764
投資信託受益証券(評価額)	3,756,500,936
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	83,198,216
未払収益分配金	58,245,453
未払解約金	496,250
未払信託報酬	24,301,484
その他未払費用	155,029
(C) 純資産総額(A - B)	3,794,462,482
元本	3,883,030,250
次期繰越損益金	△ 88,567,768
(D) 受益権総口数	3,883,030,250口
1万口当り基準価額(C/D)	9,772円

\* 期首における元本額は4,110,341,617円、当作成期間中における追加設定元本額は5,920,921円、同解約元本額は233,232,288円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,772円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は88,567,768円です。

■損益の状況

当期 自2020年2月19日 至2020年8月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	84,097,995円
受取配当金	84,111,155
受取利息	721
支払利息	△ 13,881
(B) 有価証券売買損益	△215,970,148
売買益	25,024,902
売買損	△240,995,050
(C) 信託報酬等	△ 24,457,144
(D) 当期損益金(A + B + C)	△156,329,297
(E) 前期繰越損益金	123,117,084
(F) 追加信託差損益金	2,889,898
(配当等相当額)	( 7,945,485)
(売買損益相当額)	(△ 5,055,587)
(G) 合計(D + E + F)	△ 30,322,315
(H) 収益分配金	△ 58,245,453
次期繰越損益金(G + H)	△ 88,567,768
追加信託差損益金	2,889,898
(配当等相当額)	( 7,945,485)
(売買損益相当額)	(△ 5,055,587)
分配準備積立金	163,669,604
繰越損益金	△255,127,270

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	59,640,851円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	7,945,485
(d) 分配準備積立金	162,274,206
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	229,860,542
(f) 分配金	58,245,453
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	171,615,089
(h) 受益権総口数	3,883,030,250口

<b>収 益 分 配 金 の お 知 ら せ</b>	
<b>1 万 口 当 り 分 配 金</b>	<b>150円</b>

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			公社債組入比率	債券組入率	投資利益率	信託証券比率	純資産総額
		税金	込	み					
	円		円		%	%	%	百万円	
6期末 (2018年8月20日)	9,193		155		△3.7	—	99.4	1,277	
7期末 (2019年2月18日)	9,018		170		△0.1	—	98.8	1,107	
8期末 (2019年8月19日)	8,952		155		1.0	—	99.1	972	
9期末 (2020年2月18日)	9,626		200		9.8	—	99.0	932	
10期末 (2020年8月18日)	9,056		140		△4.5	—	98.9	860	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

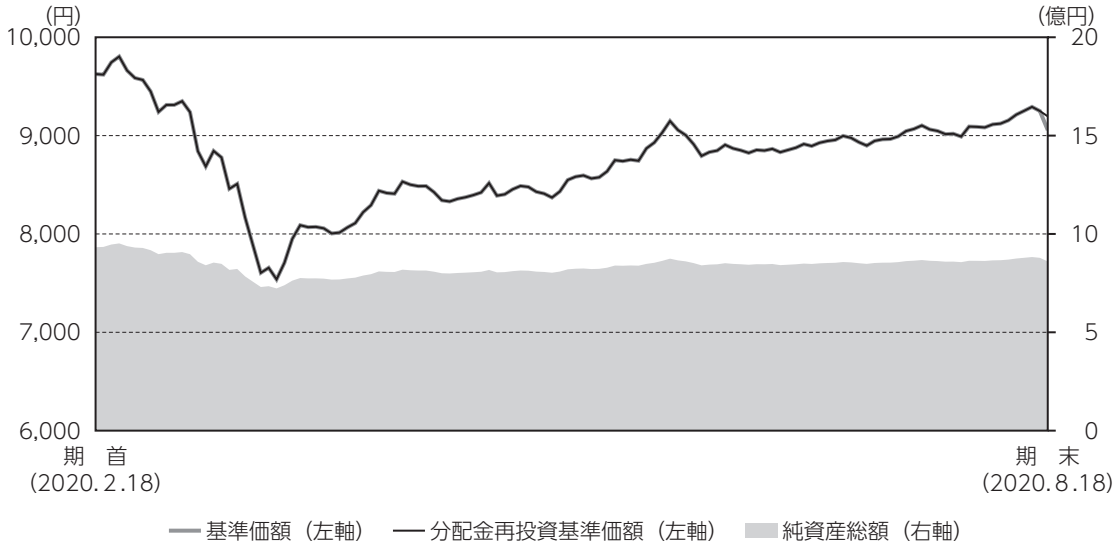
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,626円

期末：9,056円（分配金140円）

騰落率：△4.5%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、ユーロ円為替相場が上昇（円安）したことは基準価額の上昇要因となったものの、C o C o債（※）の価格が下落したことや米ドル円為替相場が下落（円高）したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率	率				
(期首) 2020年2月18日	円 9,626	% -	% -			% 99.0
2月末	9,449	△ 1.8	-			98.8
3月末	8,072	△16.1	-			99.0
4月末	8,422	△12.5	-			99.1
5月末	8,740	△ 9.2	-			99.3
6月末	8,877	△ 7.8	-			99.0
7月末	8,990	△ 6.6	-			99.0
(期末) 2020年8月18日	9,196	△ 4.5	-			98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020.2.19～2020.8.18)

## ■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は小幅に上昇しました。

金融ハイブリッド証券市況は、信用スプレッド（国債との利回り格差）は拡大したものの、金利の低下（債券価格は上昇）および利金収入から上昇しました。

海外債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大により景気悪化が懸念されたことや、各国の中央銀行が緊急利下げや量的緩和などの金融緩和策を実施したことから、金利は低下しました。

信用スプレッドは、当作成期首から2020年3月下旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大により欧米の株式市場が急落したことを受け、急速に拡大しました。当作成期末にかけては、経済活動の再開や新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを背景とする欧米の株式市場の回復に伴い、信用スプレッドは縮小基調で推移しました。

資産別では、劣後債などが上昇した一方、株式市場との連動性が高いC o C o債は下落しました。

## ■為替相場

為替相場はまちまちな動きとなりました。

米ドル円為替相場は下落しました。当作成期首から2020年3月上旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的な景気減速懸念が高まったことから投資家心理が悪化し、下落しました。しかし3月下旬には、市場の混乱が米ドル需要の高まりにつながったことから下落前の水準程度まで反発しました。その後3月末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）を中心とした当局の対応を受けて市場が落ち着いたことから米ドル買いの動きが抑制され、米ドル円相場は下落しました。当作成期を通して見ると小動きでした。

ユーロ円為替相場は上昇しました。当作成期首から2020年3月上旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により下落しましたが、3月末にかけて各国で大規模な財政・金融政策が発表されて市場心理に一定の落ち着きが見られたことで円買いが巻き戻され、下落前の水準程度まで反発しました。5月上旬にかけては、E C B（欧州中央銀行）による大規模な金融緩和長期化の見通しなどからユーロは対円で弱含んで推移しました。当作成期末にかけては、E U（欧州連合）首脳会議において大型復興基金を創設することで合意したことなどを好感し、ユーロ円相場は上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態で、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とし

## ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

ます。

※ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）：A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

### ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020.2.19~2020.8.18)

### ■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持しました。

### ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

G-SIFIs（※）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行いました。資産別では、C o C o債、米国優先証券を中心に投資を行いました。国・地域別では、米国の金融機関の比率を高めとしました。

※G-SIFIs：金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年2月19日 ～2020年8月18日	
<b>当期分配金（税込み）</b> (円)		<b>140</b>
対基準価額比率 (%)		1.52
当期の収益 (円)		140
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		73

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	144.64円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		52.95
(d) 分配準備積立金		16.21
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		213.81
(f) 分配金		140.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		73.81

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態で、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.2.19~2020.8.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	56円	0.642%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,741円です。
（投 信 会 社）	(19)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(36)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	57	0.646	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

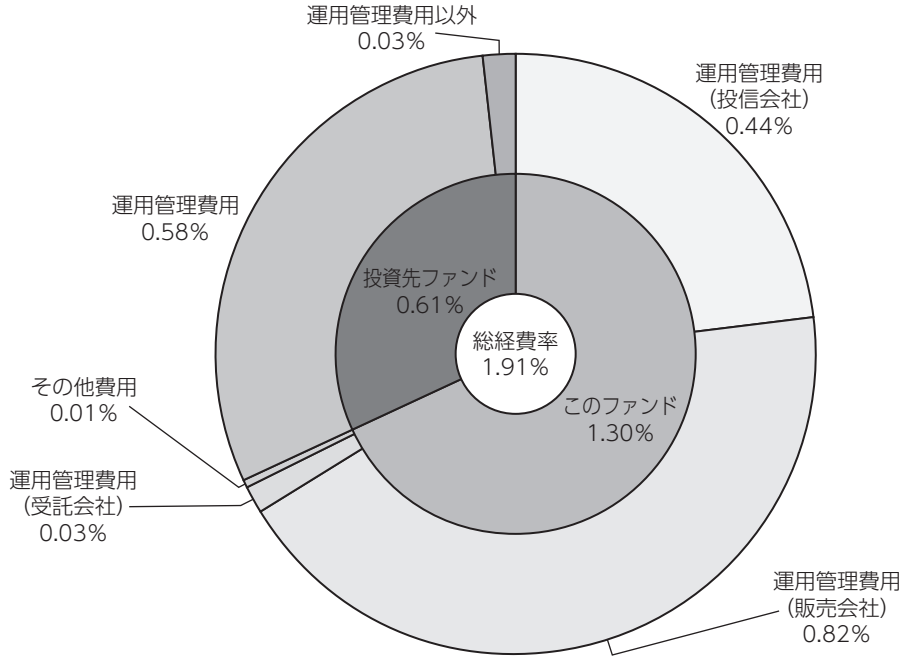
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率 (①+②+③)	1.91%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

### ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2020年2月19日から2020年8月18日まで）

国	内	買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	20,172.588	18,000	38,074.161	34,000

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	933,904.126	850,786	98.9

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	0

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2020年8月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	850,786	96.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	28,109	3.2
投資信託財産総額	878,897	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	878,897,300円
コール・ローン等	28,109,644
投資信託受益証券(評価額)	850,786,658
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	18,719,192
未払収益分配金	13,297,744
未払信託報酬	5,387,150
その他未払費用	34,298
(C) 純資産総額(A - B)	860,178,108
元本	949,838,889
次期繰越損益金	△ 89,660,781
(D) 受益権総口数	949,838,889口
1万口当り基準価額(C / D)	9,056円

\* 期首における元本額は968,685,166円、当作成期間中における追加設定元本額は2,371,548円、同解約元本額は21,217,825円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,056円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は89,660,781円です。

■損益の状況

当期 自2020年2月19日 至2020年8月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	19,160,477円
受取配当金	19,163,227
受取利息	113
支払利息	△ 2,863
(B) 有価証券売買損益	△54,610,170
売買益	1,995,688
売買損	△56,605,858
(C) 信託報酬等	△ 5,421,567
(D) 当期損益金(A + B + C)	△40,871,260
(E) 前期繰越損益金	△27,677,522
(F) 追加信託差損益金	△ 7,814,255
(配当等相当額)	( 5,029,721)
(売買損益相当額)	(△12,843,976)
(G) 合計(D + E + F)	△76,363,037
(H) 収益分配金	△13,297,744
次期繰越損益金(G + H)	△89,660,781
追加信託差損益金	△ 7,814,255
(配当等相当額)	( 5,029,721)
(売買損益相当額)	(△12,843,976)
分配準備積立金	1,981,490
繰越損益金	△83,828,016

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,738,910円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	5,029,721
(d) 分配準備積立金	1,540,324
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	20,308,955
(f) 分配金	13,297,744
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	7,011,211
(h) 受益権総口数	949,838,889口

<b>収 益 分 配 金 の お 知 ら せ</b>	
<b>1 万 口 当 り 分 配 金</b>	<b>140円</b>

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年8月18日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年2月19日～2020年8月18日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年8月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第10期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

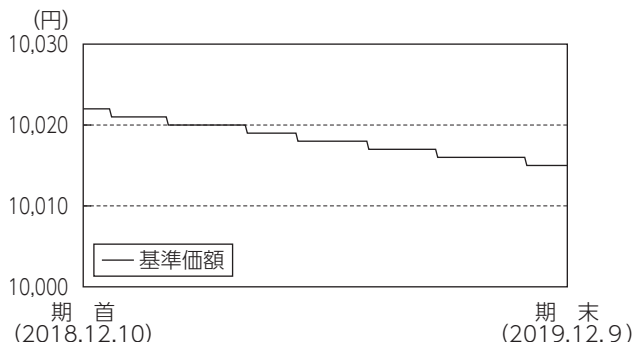
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,022	-	-
12月末	10,022	0.0	-
2019年 1 月末	10,021	△0.0	-
2 月末	10,020	△0.0	-
3 月末	10,020	△0.0	-
4 月末	10,019	△0.0	-
5 月末	10,018	△0.0	-
6 月末	10,018	△0.0	-
7 月末	10,017	△0.0	-
8 月末	10,017	△0.0	-
9 月末	10,016	△0.1	-
10 月末	10,016	△0.1	-
11 月末	10,015	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,015	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	250,003	(250,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
801	国庫短期証券 2019/3/18 250,003		

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。



■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	103,888,808	100.0
投資信託財産総額	103,888,808	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>103,888,808,252円</b>
コール・ローン等	103,888,808,252
<b>(B) 負債</b>	<b>200,442,764</b>
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>103,688,365,488</b>
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>103,532,314,258口</b>
<b>1口当たり基準価額(C / D)</b>	<b>10,015円</b>

\* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解除元本額は136,021,893,199円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック - 947,268円、ダイワ/ミレニアム・インド株ファンド - インドの匠 - 29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジN A S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 658,945円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xレバレッジ (2倍) 指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xダブルインパース (-2倍) 指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xインパース (-1倍) 指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L T

リード-186,241,301円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の橋 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド (適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアム・細細並株ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアム・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



**ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)**  
**ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)**

**追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)**  
**第10期 (決算日2020年7月20日)**

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	2023年8月17日まで (信託設定日：2015年8月20日)	
運用方針	<p>① ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を旨として運用を行います。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。</p> <p>② マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高度に維持します。</p> <p>③ マザーファンドにおけるハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行する銘柄を中心に投資を行います。</p> <p>④ ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。</p>	
	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * を主要投資対象とします。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	① 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ② 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	① 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ② 株式への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。</p> <p>② 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「投資態度」に基づいて運用を行います。</p>	

**受益者のみなさまへ**

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」 「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」は、このたび第10期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

**アライアンス・バーンスタイン株式会社**

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント  
 お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

## ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
6 期 (2018年7月18日)	円 9,930	円 239	% △4.3	% 0.6	% 98.1	% -	百万円 5,967
7 期 (2019年1月18日)	9,531	244	△1.6	-	97.9	-	4,782
8 期 (2019年7月18日)	10,037	239	7.8	-	97.7	-	4,516
9 期 (2020年1月20日)	10,296	240	5.0	-	97.7	-	4,197
10期 (2020年7月20日)	9,709	223	△3.5	-	98.2	-	3,674

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	券 率
	騰 落 率	騰 落 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(期 首) 2020年1月20日	円 10,296	% -	% -	% 97.7	% -	% -
1月末	10,356	0.6	-	96.6	-	-
2月末	10,265	△ 0.3	-	97.6	-	-
3月末	8,839	△14.2	-	97.4	-	-
4月末	9,433	△ 8.4	-	94.9	-	-
5月末	9,679	△ 6.0	-	98.4	-	-
6月末	9,780	△ 5.0	-	95.9	-	-
(期 末) 2020年7月20日	9,932	△ 3.5	-	98.2	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## 運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

（2020年1月21日～2020年7月20日）



期 首：10,296円  
 期 末：9,709円（既払分配金（税込み）：223円）  
 騰落率：－3.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2020年1月20日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

### ○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比3.5%の下落\*となりました。

\*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### <値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・劣後債や優先証券（従来型）の価格上昇

#### <値下がり要因>

- ・為替のヘッジ・コスト
- ・CoCo債や米国優先証券の価格下落

## 投資環境

（2020年1月21日～2020年7月20日）

当期のハイブリッド証券市場は、前期末に比べて下落しました。

期初から2020年3月下旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により欧米の株式市場が急落したことを受け、スプレッドは拡大しました。その後期末にかけては、経済活動の再開や新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを背景とする欧米の株式市場の回復に伴い、スプレッドは縮小しました。

証券種別では、劣後債が上昇した一方、株式市場との連動性が高いCoCo債は下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2020年1月21日～2020年7月20日）

### <当ファンド>

当ファンドはABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通じてほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。なお、当ファンドの外貨建資産については、高い為替ヘッジ比率を維持しました。

### <マザーファンド>

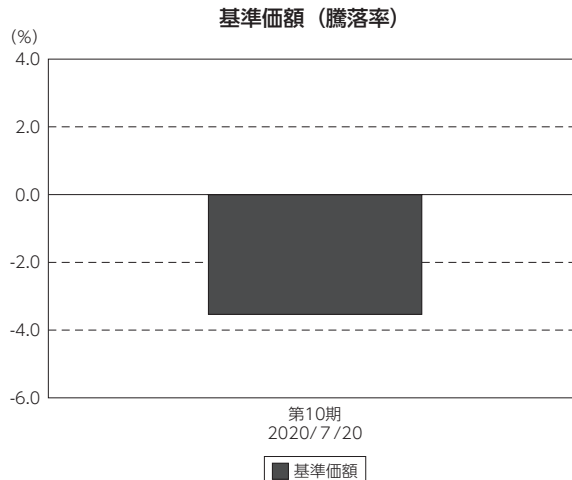
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、CoCo債の組入比率が最も上昇した一方で、劣後債（バーゼルⅢ対応型）の組入比率が最も低下しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年1月21日～2020年7月20日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

（2020年1月21日～2020年7月20日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、223円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2020年1月21日～ 2020年7月20日
当期分配金	223
（対基準価額比率）	2.245%
当期の収益	223
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	698

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

## 今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

### <マザーファンド>

世界経済は、規模、ペースともに想像をはるかに超えた新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、広範にわたり経済活動が低迷または停止しており、2020年はマイナス成長に陥る可能性が高いとみています。一方、主要国が矢継ぎ早に繰り出している過去最大級の財政政策や金融政策などが経済活動回復の追い風となり、2021年はプラス成長となる見込みです。

米国経済は、新型コロナウイルスの影響から足元の景気後退は避けられないため、2020年はマイナス成長に落ち込むと予想しています。一方で現在までに打ち出されている3兆ドルを超える経済対策を背景に2021年はプラス成長に回復すると予想しています。

ユーロ圏経済は、新型コロナウイルスの影響からの回復は今後数ヶ月程度要すると見込まれ、2020年はマイナス成長に転じるとみています。欧州中央銀行（ECB）が3月に打ち出したパンデミック緊急購入プログラムの拡充を決定したことなどから、2021年はプラス成長に回復すると予想しています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、バーゼルⅢ施行に向けた規制の強化と金融機関側の資本の積み増しやリスク削減の取組みが進捗してきたことから、新型コロナウイルスによる世界経済減速懸念に対しても耐えられるだけの健全性を有しているとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。



○ 1万口当たりの費用明細

（2020年1月21日～2020年7月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	28 (27) ( 0) ( 1)	0.290 (0.274) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)  (監 査 費 用) (そ の 他)	1 ( 0)  ( 1) ( 0)	0.014 (0.004)  (0.010) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	29	0.304	
期中の平均基準価額は、9,725円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2020年1月21日～2020年7月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 218,250	千円 241,873	千口 532,417	千円 605,589

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年1月21日～2020年7月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年7月20日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期 首（前期末）	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 3,460,455	千口 3,146,288	千円 3,679,898

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2020年7月20日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 3,679,898	% 96.7
コール・ローン等、その他	126,338	3.3
投資信託財産総額	3,806,236	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（4,604,181千円）の投資信託財産総額（4,652,148千円）に対する比率は99.0%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=107.52円、1ユーロ=122.79円、1英ポンド=134.89円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年7月20日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	7,838,696,585	
コール・ローン等	4,975,151	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	3,679,898,474	
未収入金	4,153,822,960	
(B) 負債	4,163,781,751	
未払金	4,047,945,190	
未払収益分配金	84,406,189	
未払解約金	20,000,000	
未払信託報酬	11,045,361	
未払利息	11	
その他未払費用	385,000	
(C) 純資産総額(A - B)	3,674,914,834	
元本	3,785,030,901	
次期繰越損益金	△ 110,116,067	
(D) 受益権総口数	3,785,030,901口	
1万口当たり基準価額(C / D)	9,709円	

(注) 期首元本額4,076,802,812円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額291,771,911円。当期末現在における1口当たり純資産額0.9709円。

(注) 第10期現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△110,116,067円です。

○損益の状況（2020年1月21日～2020年7月20日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 3,953	
支払利息	△ 3,953	
(B) 有価証券売買損益	△126,246,148	
売買益	415,757,590	
売買損	△542,003,738	
(C) 信託報酬等	△ 11,433,057	
(D) 当期損益金(A + B + C)	△137,683,158	
(E) 前期繰越損益金	123,334,751	
(F) 追加信託差損益金	△ 11,361,471	
(配当等相当額)	( 23,959,098)	
(売買損益相当額)	(△ 35,320,569)	
(G) 計(D + E + F)	△ 25,709,878	
(H) 収益分配金	△ 84,406,189	
次期繰越損益金(G + H)	△110,116,067	
追加信託差損益金	△ 11,361,471	
(配当等相当額)	( 23,959,098)	
(売買損益相当額)	(△ 35,320,569)	
分配準備積立金	240,298,066	
繰越損益金	△339,052,662	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第10期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(84,586,975円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(23,959,098円)および分配準備積立金額(240,117,280円)より分配対象収益額は348,663,353円(10,000口当たり921円)であり、うち84,406,189円(10,000口当たり223円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	223円
----------------	------

○お知らせ

2020年1月21日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

当ファンドの運用を継続し、投資機会を引き続き提供させていただくことが受益者の皆様に有利であると判断しましたので、信託期間を3年延長し、信託終了日を2020年8月17日から2023年8月17日に変更しました。(変更日:2020年5月12日)

## ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配 金	騰 落 率	中 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
6 期 (2018年7月18日)	円 9,513	円 225	% △4.5	% 0.6	% 96.9	% -	百万円 1,320	
7 期 (2019年1月18日)	8,829	233	△4.7	-	98.0	-	1,089	
8 期 (2019年7月18日)	9,168	222	6.4	-	98.3	-	1,000	
9 期 (2020年1月20日)	9,643	218	7.6	-	96.5	-	925	
10期 (2020年7月20日)	8,951	206	△5.0	-	98.1	-	834	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	券 率
		騰 落 率	率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(期 首) 2020年1月20日	円 9,643	% -	% -	% 96.5	% -	% -	
1月末	9,588	△ 0.6	-	96.5	-	-	
2月末	9,524	△ 1.2	-	98.0	-	-	
3月末	8,130	△15.7	-	95.4	-	-	
4月末	8,495	△11.9	-	96.5	-	-	
5月末	8,828	△ 8.5	-	97.6	-	-	
6月末	8,978	△ 6.9	-	97.8	-	-	
(期 末) 2020年7月20日	9,157	△ 5.0	-	98.1	-	-	

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## 運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

（2020年1月21日～2020年7月20日）



期首：9,643円  
 期末：8,951円（既払分配金（税込み）：206円）  
 騰落率：－5.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2020年1月20日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

### ○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比5.0%の下落\*となりました。

\*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### <値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・劣後債や優先証券（従来型）の価格上昇
- ・円安ユーロ高

#### <値下がり要因>

- ・CoCo債や米国優先証券の価格下落
- ・円高ドル安

**投資環境**

（2020年1月21日～2020年7月20日）

当期のハイブリッド証券市場は、前期末に比べて下落しました。

期初から2020年3月下旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により欧米の株式市場が急落したことを受け、スプレッドは拡大しました。その後期末にかけては、経済活動の再開や新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを背景とする欧米の株式市場の回復に伴い、スプレッドは縮小しました。

証券種別では、劣後債が上昇した一方、株式市場との連動性が高いCoCo債は下落しました。

為替市場においては、前期末に比べて円高ドル安および円安ユーロ高となりました。

円ドル・レートは、期初から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議の動向に左右される展開となりました。その後3月初旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から安全資産である円が買われ、急速に円高ドル安が進行したものの、3月中旬にはドルが反発しました。その後再び円高ドル安となり、期末にかけては不安定な展開が続きました。

円ユーロ・レートは、期初から2020年5月初旬にかけては、円高ユーロ安が進行しました。6月初旬にかけては、世界各地で経済活動が再開される動きが広がる中、景気見通しへの過度な不安が和らいだことから大きく円安ユーロ高となりました。その後、新型コロナウイルス感染拡大の第2波への懸念などからやや円高に振れたものの、期末には再び円安ユーロ高となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2020年1月21日～2020年7月20日）

**<当ファンド>**

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通じてほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

**<マザーファンド>**

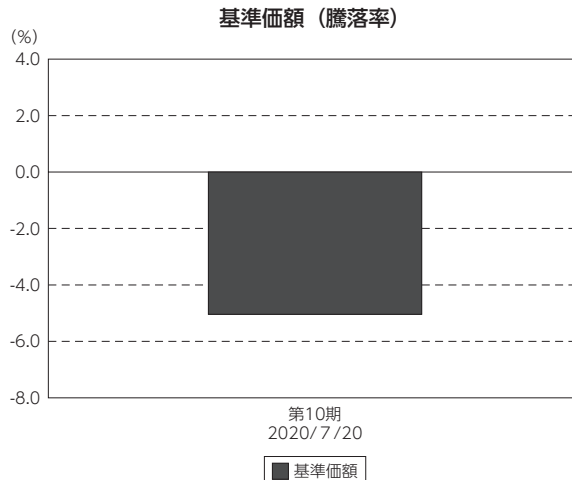
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、CoCo債の組入比率が最も上昇した一方で、劣後債（バーゼルⅢ対応型）の組入比率が最も低下しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年1月21日～2020年7月20日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

（2020年1月21日～2020年7月20日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、206円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2020年1月21日～ 2020年7月20日
当期分配金	206
（対基準価額比率）	2.250%
当期の収益	206
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	405

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

## 今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

### <マザーファンド>

世界経済は、規模、ペースともに想像をはるかに超えた新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、広範にわたり経済活動が低迷または停止しており、2020年はマイナス成長に陥る可能性が高いとみています。一方、主要国が矢継ぎ早に繰り出している過去最大級の財政政策や金融政策などが経済活動回復の追い風となり、2021年はプラス成長となる見込みです。

米国経済は、新型コロナウイルスの影響から足元の景気後退は避けられないため、2020年はマイナス成長に落ち込むと予想しています。一方で現在までに打ち出されている3兆ドルを超える経済対策を背景に2021年はプラス成長に回復すると予想しています。

ユーロ圏経済は、新型コロナウイルスの影響からの回復は今後数ヶ月程度要すると見込まれ、2020年はマイナス成長に転じるとみています。欧州中央銀行（ECB）が3月に打ち出したパンデミック緊急購入プログラムの拡充を決定したことなどから、2021年はプラス成長に回復すると予想しています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、バーゼルⅢ施行に向けた規制の強化と金融機関側の資本の積み増しやリスク削減の取組みが進捗してきたことから、新型コロナウイルスによる世界経済減速懸念に対しても耐えられるだけの健全性を有しているとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。



○ 1万口当たりの費用明細

（2020年1月21日～2020年7月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	26 (24) ( 0) ( 1)	0.290 (0.273) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)  (監 査 費 用) (そ の 他)	2 ( 0)  ( 1) ( 0)	0.017 (0.004)  (0.013) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	28	0.307	
期中の平均基準価額は、8,923円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2020年1月21日～2020年7月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設		解	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千□	千円	千□	千円
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		95	117	40,459	46,800

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年1月21日～2020年7月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年7月20日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期 首（前期末）	当 期		末
		□ 数	□ 数	評 価	額
		千□	千□	千円	千円
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		753,883	713,519		834,532

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2020年7月20日現在）

項 目	当 期		末
	評 価	額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円		%
	834,532		97.5
コール・ローン等、その他		21,810	2.5
投資信託財産総額		856,342	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（4,604,181千円）の投資信託財産総額（4,652,148千円）に対する比率は99.0%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=107.52円、1ユーロ=122.79円、1英ポンド=134.89円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年7月20日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	856,342,103	
コール・ローン等	10,004	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	834,532,099	
未収入金	21,800,000	
(B) 負債	21,754,794	
未払収益分配金	19,208,378	
未払信託報酬	2,436,416	
その他未払費用	110,000	
(C) 純資産総額(A - B)	834,587,309	
元本	932,445,548	
次期繰越損益金	△ 97,858,239	
(D) 受益権総口数	932,445,548口	
1万口当たり基準価額(C/D)	8,951円	

(注) 期首元本額960,040,388円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額27,594,840円。当期末現在における1口当たり純資産額0.8951円。

(注) 第10期現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△97,858,239円です。

○損益の状況（2020年1月21日～2020年7月20日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	△ 42,794,094	
売買益	1,689,908	
売買損	△ 44,484,002	
(B) 信託報酬等	△ 2,546,416	
(C) 当期損益金(A + B)	△ 45,340,510	
(D) 前期繰越損益金	△ 16,664,128	
(E) 追加信託差損益金	△ 16,645,223	
(配当等相当額)	( 5,995,428)	
(売買損益相当額)	(△ 22,640,651)	
(F) 計(C + D + E)	△ 78,649,861	
(G) 収益分配金	△ 19,208,378	
次期繰越損益金(F + G)	△ 97,858,239	
追加信託差損益金	△ 16,645,223	
(配当等相当額)	( 5,995,428)	
(売買損益相当額)	(△ 22,640,651)	
分配準備積立金	31,783,774	
繰越損益金	△ 112,996,790	

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第10期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(19,220,497円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(5,995,428円)および分配準備積立金額(31,771,655円)より分配対象収益額は56,987,580円(10,000口当たり611円)であり、うち19,208,378円(10,000口当たり206円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	206円
----------------	------

○お知らせ

2020年1月21日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

当ファンドの運用を継続し、投資機会を引き続き提供させていただくことが受益者の皆様に有利であると判断しましたので、信託期間を3年延長し、信託終了日を2020年8月17日から2023年8月17日に変更しました。(変更日:2020年5月12日)

以上



## ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

第5期（決算日2020年7月20日）

（計算期間：2019年7月19日～2020年7月20日）

### ●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	<p>①世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）<sup>*</sup>に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目差して運用を行います。 *C o C o条項が付帯されているものを含みます。</p> <p>②ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関（関連会社等を含みます。）が発行する銘柄を中心に投資を行います。</p> <p>③ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。</p>
主要運用対象	<p>世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）<sup>*</sup>を主要投資対象とします。 *C o C o条項が付帯されているものを含みます。</p>
組入制限	<p>①外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>②株式への投資割合には、制限を設けません。</p>

### アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	ハイブリッド証券				債 先 物 比	純 資 産 額
		騰 落 率	優 先 株 債 組 入 比	優 先 株 債 組 入 比	債 券 率		
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	百万円 10,580	
1期 (2016年7月19日)	8,874	△11.3	-	94.8	-	13,691	
2期 (2017年7月18日)	10,826	22.0	1.3	95.8	-	9,281	
3期 (2018年7月18日)	11,167	3.1	0.6	97.0	-	7,358	
4期 (2019年7月18日)	11,382	1.9	-	98.3	-	5,489	
5期 (2020年7月20日)	11,696	2.8	-	98.1	-	4,514	

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	ハイブリッド証券				債 先 物 比	券 率
		騰 落 率	優 先 株 債 組 入 比	優 先 株 債 組 入 比	債 券 率		
(期 首) 2019年7月18日	円 11,382	% -	% -	% 98.3	% -		
7月末	11,467	0.7	-	97.7	-		
8月末	11,263	△1.0	-	96.9	-		
9月末	11,450	0.6	-	97.4	-		
10月末	11,804	3.7	-	96.6	-		
11月末	11,913	4.7	-	98.0	-		
12月末	12,121	6.5	-	97.3	-		
2020年1月末	12,211	7.3	-	96.4	-		
2月末	12,135	6.6	-	98.0	-		
3月末	10,365	△8.9	-	95.3	-		
4月末	10,836	△4.8	-	96.3	-		
5月末	11,265	△1.0	-	97.3	-		
6月末	11,462	0.7	-	97.6	-		
(期 末) 2020年7月20日	11,696	2.8	-	98.1	-		

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

※参考指数について  
当マザーファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、参考指数を設けておりません。

## 運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

（2019年7月19日～2020年7月20日）

#### ○期中の基準価額の推移



#### ○基準価額等の推移

基準価額は、前期末比2.8%の上昇となりました。

#### ○基準価額の主な変動要因

##### <値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇
- ・円安ユーロ高

##### <値下がり要因>

- ・円高ドル安

(2019年7月19日～2020年7月20日)

**投資環境**

当期のハイブリッド証券市場は、前期末に比べて上昇しました。

期初から2020年2月中旬にかけては、堅調な欧米の株式市場の流れを受けてスプレッドは縮小基調で推移しました。しかし3月下旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大などを受け、リスクオフの流れからスプレッドは急拡大しました。その後期末にかけては、主要中銀による大規模な支援策や経済活動再開に向けての期待感から欧米の株式市場が回復したことを受け、ハイブリッド証券市場も堅調に推移しました。

証券種別では、いずれも上昇した中で、劣後債が最も大きく上昇した一方、米国優先証券の上昇幅は相対的に小さめとなりました。

為替市場においては、前期末に比べて円高ドル安、円安ユーロ高となりました。

円ドル・レートは、期初から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議の動向に左右される展開となりました。その後3月初旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的感染拡大への懸念から安全資産である円が買われ、急速に円高ドル安が進行しました。しかし中旬には、リスク資産の売却が進みドルが反発しました。その後期末にかけては、原油価格の急落や相次ぐ低調な米国の経済指標を受けて再び円高ドル安が進行しました。

円ユーロ・レートは、期初から2019年9月初旬にかけては、欧州中央銀行（ECB）による追加緩和の高まりなどから円高ユーロ安となりました。その後2020年1月中旬にかけては、堅調な欧州の株式市場を背景に円安ユーロ高基調で推移したものの、5月初旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によりユーロ圏の経済指標が弱含み、先行き不透明感から円高ユーロ安基調で推移しました。その後急反発し、期末にかけては円安ユーロ高となりました。

(2019年7月19日～2020年7月20日)

**運用概況**

当マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs (Global Systemically Important Financial Institutions) に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、CoCo債の組入比率が、上昇した一方で、劣後債（バーゼルⅢ対応型）の組入比率は低下しました。

**今後の運用方針**

世界経済は、規模、ペースともに想像をはるかに超えた新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、広範にわたり経済活動が低迷または停止しており、2020年はマイナス成長に陥る可能性が高いとみています。一方、主要国が矢継ぎ早に繰り出している過去最大級の財政政策や金融政策などが経済活動回復の追い風となり、2021年はプラス成長となる見込みです。米国経済は、新型コロナウイルスの影響から足元の景気後退は避けられないため、2020年はマイナス成長に落ち込むと予想しています。一方で現在までに打ち出されている3兆ドルを超える経済対策を背景に2021年はプラス成長に回復すると予想しています。ユーロ圏経済は、新型コロナウイルスの影響からの回復は今後数ヶ月程度要すると見込まれ、2020年はマイナス成長に転じるとみています。欧州中央銀行（ECB）が3月に打ち出したパンデミック緊急購入プログラムの拡充を決定したことなどから、2021年はプラス成長に回復すると予想しています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、バーゼルⅢ施行に向けた規制の強化と金融機関側の資本の積み増しやリスク削減の取組みが進捗してきたことから、新型コロナウイルスによる世界経済減速懸念に対しても耐えられるだけの健全性を有しているとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2019年7月19日～2020年7月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 1 (1)	% 0.008 (0.007)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	1	0.008	
期中の平均基準価額は、11,524円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年7月19日～2020年7月20日)

ハイブリッド証券

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千米ドル 14,502	千米ドル 15,766
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	社債券	—	1,125
	イタリア	社債券	—	1,769
	フランス	社債券	—	437
	オランダ	社債券	3,184	1,544
	スペイン	社債券	603	1,892
	ベルギー	社債券	214	—
	オーストリア	社債券	190	—
	フィンランド	社債券	308	553
	アイルランド	社債券	427	235
	その他	社債券	863	4,187

(注) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) —印は該当なし。



## ○利害関係人との取引状況等

(2019年7月19日～2020年7月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年7月20日現在)

## ハイブリッド証券

## 外国公社債

(A) 外国 (外貨建) 公社債 債券種類別開示

区 分	額 面 金 額	当 期		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	末		
		評 価 額 外 貨 建 金 額	評 価 額 邦 貨 換 算 金 額			残 存 期 間	別 組 入 比 率	2 年 未 満
		千 米 ド ル	千 円	%	%	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	26,118	27,143	2,918,468	64.6	13.9	62.7	1.9	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
イタリア	1,090	1,182	145,159	3.2	3.2	3.2	—	—
オランダ	2,400	2,280	279,962	6.2	—	6.2	—	—
スペイン	4,400	4,449	546,332	12.1	12.1	12.1	—	—
ベルギー	200	192	23,695	0.5	—	0.5	—	—
オーストリア	200	210	25,847	0.6	—	0.6	—	—
フィンランド	600	580	71,312	1.6	—	1.6	—	—
アイルランド	235	237	29,176	0.6	0.6	0.6	—	—
その他	1,836	1,833	225,117	5.0	—	5.0	—	—
イギリス	千英ポンド	千英ポンド						
	1,341	1,216	164,081	3.6	—	3.6	—	—
合 計	—	—	4,429,152	98.1	29.8	96.2	1.9	—

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) —印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 格付はムーディーズとS&amp;Pのうちいずれか高い方を採用して集計したものです。

(B) 外国 (外貨建) 公社債 個別銘柄開示

銘	柄	利 率	当 期		償 還 年 月 日
			額 面 金 額	評 価 額	
		%	千 米 ド ル	外 貨 建 金 額 千 米 ド ル	邦 貨 換 算 金 額 千 円
アメリカ	ハイブリッド証券等	6.5	200	195	2099/12/5
	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	8.05	1,413	1,887	2027/6/15
	BANK OF AMERICA CORP	6.3	561	628	2099/9/10
	BANK OF AMERICA CORP	6.5	495	534	2099/10/23
	BNP PARIBAS	6.625	355	366	2099/9/25
	BNP PARIBAS	7.625	205	209	2099/9/30
	CHARLES SCHWAB CORP	5.375	186	200	2099/12/1
	CITIGROUP INC	5.95	1,265	1,281	2099/7/30
	CITIGROUP INC	6.25	1,000	1,080	2099/8/15
	CREDIT AGRICOLE SA	6.875	350	369	2099/9/23
	CREDIT SUISSE GROUP	7.5	810	849	2099/7/17
	CREDIT SUISSE GROUP	6.375	249	258	2099/8/21

ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

銘柄	柄	当期末				償還年月日	
		利率	額面金額	評価額	外貨建金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	ハイブリッド証券等	CREDIT SUISSE GROUP	6.25	1,395	1,480	159,204	2099/12/18
		DISCOVER FINANCIAL SVS	6.125	1,662	1,721	185,109	2099/9/23
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	4.95	720	699	75,215	2099/8/10
		HSBC HOLDINGS PLC	6.375	607	620	66,676	2099/9/30
		HSBC HOLDINGS PLC	6.875	200	203	21,895	2099/12/1
		INTESA SANPAOLO SPA	5.017	786	815	87,693	2024/6/26
		JPMORGAN CHASE & CO	5.0	877	856	92,099	2099/8/1
		JPMORGAN CHASE & CO	6.75	622	676	72,788	2099/8/1
		LIBERTY MUTUAL GROUP	7.8	1,500	1,800	193,536	2037/3/15
		NORDEA BANK AB	6.625	580	627	67,435	2099/9/26
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	2.62788	2,000	1,872	201,298	2099/9/30
		SOCIETE GENERALE	7.875	468	497	53,450	2099/12/18
		STANDARD CHARTERED PLC	2.27013	2,400	1,945	209,173	2099/7/30
		SWEDBANK AB	5.625	200	205	22,135	2099/9/17
		TRUIST FINANCIAL CORP	5.1	663	691	74,380	2099/9/1
		TRUIST FINANCIAL CORP	4.95	1,705	1,773	190,738	2099/12/1
		UBS GROUP AG	7.125	200	206	22,149	2099/8/10
		UBS GROUP FUNDING SWITZE	6.875	1,150	1,227	131,990	2099/8/7
		WELLS FARGO & CO	5.875	1,294	1,359	146,173	2099/12/15
小計						2,918,468	
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
イタリア	ハイブリッド証券等	INTESA SANPAOLO SPA	7.75	290	321	39,453	2099/7/11
		UNICREDIT SPA	9.25	800	860	105,705	2099/12/3
オランダ	ハイブリッド証券等	ABN AMRO BANK NV	5.75	400	400	49,234	2099/9/22
		COOPERATIEVE RABOBANK UA	6.625	200	207	25,421	2099/12/29
		COOPERATIEVE RABOBANK UA	4.625	200	204	25,077	2099/12/29
		COOPERATIEVE RABOBANK UA	3.25	1,600	1,467	180,228	2099/12/29
スペイン	ハイブリッド証券等	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	8.875	1,000	1,043	128,190	2099/10/14
		BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	5.875	600	589	72,384	2099/11/24
		BANCO SANTANDER SA	4.375	400	363	44,610	2099/10/14
		BANCO SANTANDER SA	6.75	1,000	1,031	126,638	2099/10/25
		CAIXABANK	6.75	1,400	1,421	174,508	2099/12/13
ベルギー	ハイブリッド証券等	KBC GROUP NV	4.25	200	192	23,695	2099/10/24
オーストリア	ハイブリッド証券等	ERSTE GROUP BANK AG	8.875	200	210	25,847	2099/10/15
フィンランド	ハイブリッド証券等	NORDEA BANK AB	3.5	600	580	71,312	2099/3/12
アイルランド	ハイブリッド証券等	ALLIED IRISH BANKS PLC	7.375	235	237	29,176	2099/12/3
その他	ハイブリッド証券等	DANSKE BANK AS	5.875	444	451	55,472	2099/10/6
		HSBC HOLDINGS PLC	4.75	531	509	62,593	2099/7/4
		HSBC HOLDINGS PLC	6.0	257	267	32,857	2099/9/29
		LIBERTY MUTUAL GROUP	3.625	164	159	19,635	2059/5/23
		LLOYDS BANKING GROUP PLC	6.375	200	196	24,130	2099/12/27
		UBS GROUP AG	5.75	240	247	30,427	2099/2/19
小計						1,346,603	
イギリス			千英ポンド	千英ポンド			
	ハイブリッド証券等	CITIGROUP CAPITAL XVIII	1.01913	1,341	1,216	164,081	2067/6/28
合計						4,429,152	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付を入れております。

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 4,429,152	% 95.2
コール・ローン等、その他	222,996	4.8
投資信託財産総額	4,652,148	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (4,604,181千円) の投資信託財産総額 (4,652,148千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート (各1通貨単位当たり) は、1米ドル=107.52円、1ユーロ=122.79円、1英ポンド=134.89円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,756,932,346 円
コール・ローン等	67,659,189
公社債 (評価額)	4,429,152,987
未収入金	204,495,066
未収利息	48,123,816
前払費用	7,501,288
(B) 負債	242,583,860
未払金	104,783,750
未払解約金	137,800,000
未払利息	110
(C) 純資産総額(A - B)	4,514,348,486
元本	3,859,807,262
次期繰越損益金	654,541,224
(D) 受益権総口数	3,859,807,262口
1万口当たり基準価額(C / D)	11,696円

(注) 期首元本額 4,822,899,399円、期中追加設定元本額 379,298,869円、期中一部解約元本額 1,342,391,006円。当期末現在における1口当たり純資産額 11,696円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記の通りです。

## &lt;組入元本額の内訳&gt;

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	(適格機関投資家専用)	3,146,288,025円
A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	(適格機関投資家専用)	713,519,237円

## ○お知らせ

該当事項はありません。

## ○損益の状況 (2019年7月19日～2020年7月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	263,325,036 円
受取利息	263,476,683
その他収益金	13,371
支払利息	△ 165,018
(B) 有価証券売買損益	△113,725,474
売買益	124,198,434
売買損	△237,923,908
(C) 信託報酬等	△ 390,896
(D) 当期損益金(A + B + C)	149,208,666
(E) 前期繰越損益金	666,358,073
(F) 追加信託差損益金	44,062,697
(G) 解約差損益金	△205,088,212
(H) 計(D + E + F + G)	654,541,224
次期繰越損益金(H)	654,541,224

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。